ゆきにさわってあそんだよ！

すみれ組０歳児

外を見つめて雪が降る様子に興味津々の子ども達。外に行って雪に触れる経験をしたいところですが、足元も不安定なので危険もあります。せっかく興味をもっているので、見ているだけでは感じることのできない雪の冷たさや感触を味わってほしいと感じ、タライに雪を入れて部屋に持ってきました。

（不安そうだから）ちょっとだけ触ってみようか！
つめたーいよ！

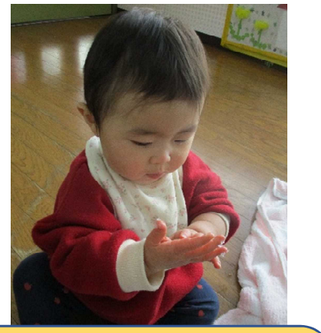
つめたくて
きもちいいな♪

先生と一緒なら
触ってみようかな…

なんか面白そう！

面白そうだね。
これは雪っていうんだよ。
やってみる？

ちょっとさわって
みようかな？



冷たくてびっくりしたね。
でも大丈夫だよ。
一緒に触ってみよう！
嫌ならカップですくってみる？

せんせ！わぁ！

ゆき、冷たいよね！
お皿に入れたの？
上手にできたね。

うわぁ！

わぁ～つめたい！
なんだこれは！？

じっくり集中しています…
そんな時には保育者は隣で
そっと見守ります♪

雪の冷たい感触に「わぁ～」と嬉しそうな顔や驚いた顔など、様々な反応を見せてくれた子ども達。指で少しずつ触ってみたり、ぎゅっと握ってみたりして遊んでいました。カップですくうと砂のように固まり、保育者がカップにつめた雪をひっくり返して雪の山をつくると、何度も壊して大喜びでした。固まったり、またバラバラになったりする雪の性質を子ども達なりに感じることができたのではないかと思います。保育者もそんな子ども達の思いに寄り添うことができるよう言葉を掛けていきました。今回は少し固まった雪だったので、雪にもいろんな性質があることを知り、その違いも楽しむことができるといいなと思っています。ベランダから降っている雪に触ってみたり、ふわふわの雪や氷など、色々なものに触れたりして遊び、冬ならではの遊びを楽しんでいきたいと思います。